

平成28事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大項目	中項目	小項目	No.	H28年度計画	実績	法人 評価点	事務局 評価点	法人評価 平均	事務局評価 平均
I. 社会情勢の変化に的確に対応した大学づくりに関する目標を達成するためにとるべき措置						8	8	4.00	4.00
	No.1	1)		松江キャンパスの新学部設置等について着実に準備を進める。	H29.3月に国への設置認可申請所等を提出した。	4	4		
		2)		浜田キャンパスの将来構想(魅力向上策)について検討する。	法人としての意見をまとめ、島根県、大学支援協議会へ提出した。	4	4		
III. 自主的、自律的な組織・運営体制の確立に関する目標を達成するためにとるべき措置						87	84	3.95	3.82
1. 業務運営の改善及び効率化									
(1) 運営、組織体制の改善による効率的、合理的な経営									
ア 機動的な体制の継続									
	No.67			全学運営組織は、全学として取り組むテーマの設定や年1回以上委員全員が出席する協議・研修の実施など、組織の活性化に向けて効果的な運営を行う。	効果的な運営を実施した。	4	4		
イ 事務組織の機能強化、効率化									
	No.68	1)		法人が直面する諸課題への対応を踏まえ、必要に応じて組織の見直しを行う。	松江キャンパスに地域連携課を新設した。	4	4		
		2)		法人一般職員を育成していく観点から、組織の見直しについて検討する。	検討に着手したが、具体的に進められていない。	4	3		
(2) 人材管理の適正化									
ア 教職員数の適正管理									
	No.69			人件費を考慮した上で、年齢や職格のバランスに留意しつつ、教職員の人事管理を適切に実施する。	昇任等を適切に実施した。	4	4		
	No.70			法人一般職員を計画的に採用する。	派遣職員から法人への振り替えを行うなどの対応を実施した。	4	4		
	No.71			臨地実習など学外で分散して展開される授業科目において、適切な指導体制と教育内容の確保が図られるよう、任期を定めた教員(嘱託助手)を必要に応じて雇用する。	助手を雇用し、教育内容の充実を図った。	4	4		
イ 業務実績が適切に処遇に反映される制度									
	No.72			教員個人評価制度について、実施要領に定めたスケジュールに沿った運用を行うために、以下の取組みを行う。 ①浜田キャンパスでは、事務局による評価対象年度の実績入力を4月上旬までに進行。 ②教員による評価票の提出は、実施要領どおり、6月末を期限とする。	スケジュールどおりに実施したが、評価が賞与への加算に留まっている。	4	3		
ウ 事務職員の人材育成									
	No.73			他大学の人事評価制度の導入事例を分析し、法人への導入が想定できるケースについて引き続き詳細な情報を収集する。	過去に収集した情報を基に、制度設計に向け検討に着手したところである。	4	3		
	No.74	1)		法人職員の採用に伴い、事務局職員としての能力、意識の向上を図るための一般的な研修を実施するとともに、公立大学協会、大学セミナーハウス等の他団体が開催する研修を効果的に活用して、専門的な能力の開発に努める。	各種研修を実施した。	4	4		
		2)		県の研修機関における専門研修の活用等により、職員の資質や意識の向上を図る。	浜田市からの派遣を受け入れた。県主催研修を法人職員が受講した。	4	4		
2. 財務内容の改善による経営基盤の強化									
(1) 自己財源の充実									
ア 外部資金の獲得									
	No.75	1)		科学研究費助成事業申請等外部資金獲得に関する研修会を開催するなどの取組みを行う。	資金獲得の取組みを推進した。	4	4		
		2)		科学研究費助成事業以外の外部資金について、引き続き情報集約と情報提供を行い、新規獲得を推進する。	資金獲得の取組みを推進した。	4	4		
		3)		科学研究費助成事業の応募時期に説明会を開催するほか、「科研費アドバイザー」を配置して随時相談に対応できる体制をとる。	相談体制を設けた。	4	4		
		4)		競争的研究費の積極的な申請を促すとともに、しまね地域共生センターを窓口として各学科と地域が連携することで、松江キャンパス独自の専門研究を促進する。	専門研究の推進を図った。	4	4		
イ 学生納付金等の適切な設定等									
	No.76			国立大学の動向を適宜調査し、状況に応じ適切な学生納付金を設定する。	国公立大学への聞き取り調査等を実施した。	4	4		
	No.77			大学開放施設の利用をホームページ等でPRし、使用料の確保を図る。	施設使用料の改正、様式の簡易化を実施した。	4	4		
	No.78			「島根県立大学未来ゆめ基金」の制度概要及び寄付金事業実績等について、法人ホームページ・広報誌等を活用し積極的に広報を行う。	各団体訪への訪問や広報誌を利用したPRを行った。	4	4		
ウ 資産の運用管理の改善									
	No.79			平成27年度の資金運用方針を定め、金融資産の効果的な運用を行う。	定期預金の利回りが低利であったため、前年度同様の運用益を実現できなかった。	3	3		
(2) 経費の抑制									
	No.80	1)		契約の合理化、集約化、複数年化等による経費の節減策を引き続き実施する。	包括管理業務委託を継続した。	4	4		
		2)		システムやネットワーク更新に際しては、業務の効率化、費用の増嵩抑制に向けた検討を行う。	Wi-Fi環境整備、クラウド化の調整を進めた。	4	4		
		3)		予算編成プロセスを通じて事業の点検を行い、ニーズに合わなくなった事業や費用対効果の低い事業については、廃止する等抜本的な業務見直しを行う。	事務事業見直しを実施し、予算編成に反映させた。	4	4		
(3) 監査体制の充実									
	No.81			理事長が指名する法人教職員による内部監査を実施するとともに、会計監査人監査及び監事監査を受けて、大学運営の健全性、透明性を確保する。	適正に監査を実施した。	4	4		
IV. 評価制度の充実及び情報公開の推進に関する目標を達成するためによるべき措置						24	20	4.00	3.33
1. 評価制度の充実									
(1) 組織を対象とした評価制度									
ア 島根県立大学法人評価委員会の評価									
	No.82			島根県公立大学法人評価委員会の業務実績に関する評価を法人及び大学運営等の改善に活用する。	評価結果を大学運営の改善に活用するよう努めたが、反映しきれていない。	4	3		
イ 自己点検・評価及び認証評価									
	No.83			—	—	—	—		
ウ 利害関係者(ステークホルダー)の評価									
	No.84			学生や地域住民から意見をを得る機会を設け、提出された意見に対しては可能な部分から対応する。	ステークホルダーからの意見のうち、学生・市民研究員からの意見については制度変更を行った。	4	3		

平成28事業年度 公立大学法人島根県立大学業務実績評価 評価点採点表

大項目	中項目	No.	H28年度計画	実績	法人評価点	事務局評価点	法人評価平均	事務局評価平均
			(2) 個人を対象とした評価制度					
		No.72 再掲	教員個人の評価制度について、スケジュールに沿った運用に努めるとともに、公正な運用を行うための所要の改善を行う。	スケジュールどおりに実施したが、評価が賞与への加算に留まっている。	4	3		
		No.73 再掲	他大学の人事評価制度の導入事例を分析し、本法人への導入が想定できるケースについて、引き続き詳細な情報を収集し研究する。	過去に収集した情報を基に、制度設計に向け検討に着手したところである。	4	3		
			2. 情報公開の推進					
		No.85	認証評価及び島根県公立大学法人評価委員会による評価結果とその改善策を公表する。	公表した。	4	4		
		No.86	島根県情報公開条例や公立大学法人島根県立大学情報公開規定に基づき、情報公開を実施する。	実施した。	4	4		
V.			その他業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するためにとるべき措置		86	83	4.10	3.95
			1. 広報広聴活動の積極的な展開等					
			(1) 戦略的な広報の実施					
		No.87	1) ホームページによる情報発信について、掲載情報の更新を頻繁に行うことによる情報の鮮度アップを図るとともに、大学の資源や魅力を効果的に伝達することに取り組む。	随時情報を更新した。	4	4		
			2) 学長定例記者会見を毎月実施し、法人、大学の取組や成果、行事等の情報を発信する。	毎月1回学長定例記者会見を実施した。	4	4		
			3) 広報誌を2回発行し、自治体回覧、県内外の施設への設置、保護者への郵送等により、大学の資源や魅力を周知する。	法人広報誌「オロリン」の6号・7号を刊行した。	4	4		
			4) テレビCMや新聞・雑誌、広報用DVD等あらゆる広報媒体を活用し、学生募集を中心とした情報発信を行い、県立大学・県立大学短期大学部の入学定員充足率100%を達成する。	様々な媒体を活用し、定員充足率を達成した。	4	4		
			(2) 大学支援組織との連携の強化					
		No.88	大学を支える会や島根県立大学支援協議会など大学を支援する組織との意見交換や交流事業の実施等を通じ地域との連携を強化する。	新たにポスターセッションによる地域との意見交換会や、自治体との共同研究発表会を実施し、地域との連携強化を進めた。	5	4		
		No.43再掲	1) 同窓会事務局フェイスブックによる情報発信を行い、同窓生と在学生との交流を促進する。	情報発信した。	4	4		
			2) キャリアプログラム(授業・講座)の講師として卒業生を招聘したり、OB・OGマッチングサービスを行うなど、卒業生を積極的に活用する。浜田キャンパスにおいては、キャリア教育の授業で、年度中に4回程度卒業生を招聘して授業を運営するとともに、OB・OGを招聘した業界研究セミナーを複数回開催するなど業界研究・企業研究にも積極的に活用する。また、OB・OG訪問を受入可とした卒業生については、卒業生キャリアサポーターとして在学生の就職支援に積極的に関わると促す。その際には、同窓会支部役員を中心としたネットワークを活かす。	「キャリア形成I・II」に卒業生を活用した。	4	4		
			3) 引き続き島根県内及び都市部の就活生激励会を同窓会組織と共同で開催する。また、県内就職率向上に向け、島根大学、ふるさと島根定住財団等関係団体と連携して、卒業生と在学生との交流の場づくりに協力する。	OBによる就職相談会を実施し、多数の3年生が訪れた。	4	4		
			4) 卒業生・修了生の意見を聴取し、同窓会組織との連携を深める。	ホームカミングデー(出雲)を実施した。	4	4		
			5) web同窓会システム(愛称カメラ)の活用、共催イベントの実施等について卒業生会と協議して、さらに具体的に連携を強化する。	松江キャンパス創立70周年事業を実施した。	5	4		
			(3) 広聴活動の実施					
		No.89	1) 学生や地域住民等から意見を得る機会を設け、提出された意見に対しては可能な部分から対応する。	ステークホルダーからの意見のうち、学生・市民研究員からの意見について制度変更を行った。	4	3		
			2) キャンパスプラットフォーム会議の開催等を通じて、地域の意見を聴き、大学運営に反映する。	キャンパスモニター会議、タウンミーティング等を実施した。	4	4		
			3) しまね地域共生センターが松江共創・共働マーケットなどの会合に参加し、参加団体との意見交換をおこなう。	大学案内や、学生の取組み報告を行った。	4	4		
			2. 施設設備の維持、整備等の適切な実施					
		No.90	施設整備の点検・更新を定期的に行い、施設整備の長寿命化を図る財産保全対策を実施する。	早期の補修、建物の防水など、迅速な修繕対応を行った。	4	4		
			3. 安全管理対策の推進					
		No.91	1) 衛生委員会、衛生管理者、産業医を置き、法令に基づき安全衛生管理体制を適切かつ積極的に運用する。また、改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度への対応を適切に行う。	法令等に基づき、適切に実施した。	4	4		
		No.92	1) 個人情報保護制度に関して引き続き啓発を行う。	各研修を実施し、啓発を行った。	4	4		
			2) 情報セキュリティポリシーを適切に運用し、利用者教育、セキュリティ監査を行う。	平成29年度版情報セキュリティ対策基本計画を策定した。	4	4		
			4. 危機管理体制の確保					
		No.93	危機管理マニュアル等に基づき、学長をトップとした危機管理対応を行い、適宜、見直しを行い、充実を図る。	各訓練・研修を行うなど、防災意識の向上に努めた。	4	4		
			5. 人権の尊重					
		No.94	学生や教職員を対象とした人権に関する研修会等を実施する。	各種人権研修を実施した。	4	4		
		No.95	キャンパス毎に設置したキャンパスハラスメント防止委員会が中心となって、キャンパスハラスメントの防止及びその早期対応に引き続き取り組む。相談窓口として、学生相談員、所属相談員を配置し、相談に対応し、研修や相談支援体制の適宜見直しや相談体制の充実を図る。また、苦情相談窓口や対応措置を学生や教職員に周知徹底する。	相談体制を設け、周知に努めた。	4	4		
			6. 環境マネジメントシステムの構築・推進					
		No.96	消費電力の削減に努める等、引き続き省エネ活動を推進する。	空調スケジュールの見直しを行った。	4	4		
			総 計		205	195	4.02	3.82

- 法人評価点及び事務局評価点が「5」の項目
- 法人評価点を変更した項目
- 法人評価点及び事務局評価点が「3」の項目
- 平成27年度評価で「今後の取組みが期待される事項」の項目